

.....

【体験した事例の直接的な原因について】

【体験した事例について】

1

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[34]歳、勤続年数[7]年、現場経験年数[4]年、階級[消防士長]、同様の活動 [数年に1度程度]、任務 [隊員]
○当事者B	年齢[35]歳、勤続年数[6]年、現場経験年数[3]年、階級[消防士長]、同様の活動 [数年に1度程度]、任務 [隊員]
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[], 同様の活動 [], 任務 []
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者Aが	屋根上に上りエンジンカッターを吊上げた。	
経過2	当事者Aが	排煙のための開削活動を開始した。	
経過3	当事者Aが	当事者Bと切断を交代した。	
経過4	当事者Aが	当事者Bと交代し、開削活動を実施した。	
経過5	当事者Aが	エンジンカッターを地上に下すところだった。	
経過6	当事者Aが	屋根上を移動した際に屋根を踏み抜いた。	
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			

【その事例発生時の状況について】

.....

- 事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？
ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

個人装備が適切だった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	はい

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	はい
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	はい

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	はい

○その他

l. その他の理由があった。

いいえ	
-----	--

○ヒヤリハット事例：一般住宅屋根で活動中に屋根を踏み抜いた事例
(同様の体験は、初めて体験した。)

(09H0007)

・発生日時 :平成16年8月 午後2時頃

経過	現場の状況	隊員A	隊員B	備考
		救助隊／消防士長 ・年齢 34歳 ・勤続 17年 ・現場 4 年 ・同様の活動: 数年に1回程度	救助隊／消防士長 ・年齢 35 歳 ・勤続 6 年 ・現場 3 年 ・同様の活動: 数年に1回程度	
出動指令 出動途上 現場到着 活動初期	建物火災発生			
	出動指令			火災への消防出動
	火災、現場活動中期、木造建造物、晴、30度を超える真夏日			救助隊5名のうち1名がヒートストレスによりおう吐したため、消火活動から外れる
		排煙口開削のため木造2階建ての屋根上で活動を開始する		屋根上の活動は3名で実施することとなり、隊員の負担は更に増大した
		屋根上に上りエンジンカッターを吊上げた		
	屋根の勾配が急であったためエンジンカッターの使用時は十分に安定した態勢とは言えない状態	開削活動を開始		
	トタン屋根による太陽熱の照り返し及び火災の熱で猛烈な暑さであった		切断を交代	ヒートストレスにより注意力が低下していったため隊員同士お互いに注意喚起し活動していた
活動中期		隊員Bと交代し、開削活動を実施した		
		軽度の熱中症で注意力が低下		
		エンジンカッターを地上に下ろすため屋根上を移動		
		屋根を踏み抜いた		外気温及び屋根のトタンによる太陽光の輻射熱、更に火災の熱によるヒートストレスに加え、保温性の高い防火衣にまだ慣れていなかった事など、いくつかの条件が重なった
活動後期				
帰 撤 署 収				
帰 署 後				

◎ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

○直接的な原因: 行動の実行に問題があった。
・個人装備が適切だった。

◎ヒヤリハットが起きた背後要因

(心理・体調について)

- ・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。

(活動環境について)

- ・暑かった(寒かった)。
- ・足元が躓いたり滑りやすかった。
- ・足元の強度が不足していた。

(指揮・管理について)

- ・隊員が不足していた。